

災害・避難カードの作成手順について



京都府危機管理部災害対策課

命を守るために

- 近年、台風や集中豪雨など想定外の自然災害により大きな被害が発生する地域が増えています。この中で逃げ遅れて命を落とす人も多くいます。
- 京都府では、このような逃げ遅れをなくすため、「災害・避難カード(水害等避難行動タイムラインの簡易版)」の作成を呼びかけています。
- こちらは、災害・避難カードの作成手順を示すものとなりますので、地域の皆様で考えて災害・避難カードを作成し、防災活動の一助としてご活用ください。

目次

1.災害・避難カードってなに？・・・・・・・・・・04

2.災害・避難カードの作成の手順・・・・・・・・07

- ・ステップ① 避難情報の意味や気象情報や防災情報の入手方法について
- ・ステップ② 地域の災害リスクの確認しよう。
- ・ステップ③ 避難の合図(スイッチ)と次善の避難場所(セカンドベスト)を考えよう。
- ・ステップ④ 災害・避難カードに記入しよう。

参考：避難行動の考え方について・・・・・・・・24



1. 災害・避難カードってなに？

災害・避難カードとは、災害種別ごとに、**避難の合図（スイッチ）**や**避難先**を整理したものをいいます。

- 自然災害による被害の軽減のためには、**住民自身による適時適切な避難**が極めて重要です。
- 避難すべき場所などをあらかじめ認識しておくための仕組みとして「災害・避難カード」を作成しましょう。

次ページに、「災害・避難カード」の一例を載せております。

<災害・避難カードの例>

災害・避難カード

		水害	土砂災害
避難の合図 (スイッチ)		〇〇川の洪水警報の危険度分布が薄紫色になったとき。	自分の住んでいる地域で、土砂災害警戒情報が発令されたとき。
避難先	指定緊急避難場所	〇〇小学校、△△中学校	〇〇小学校、△△中学校
	次善の避難場所	〇〇公民館	□□さんのお家
メモ欄		<ul style="list-style-type: none"> ・避難する際は、防災グッズを持ち出すこと。 ・〇〇さんへの避難の声掛けを行うこと。 ・災害用伝言ダイヤル(171) (災害などで電話がつながりにくくなった場合に提供が開始される伝言板) 	
<p>〇市町村から避難情報が出された際は、避難行動をとりましょう。</p> <p>〇高齢者等避難 避難に時間を要する人（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等）とその支援者は避難しましょう。</p> <p>〇避難指示 速やかに危険な場所から避難しましょう。</p>			



1. 災害・避難カードってなに？

用語の説明

- 避難の合図（スイッチ）
→ 自主的な避難行動のきっかけとする情報や状況のことをいいます。
- 次善の避難場所（セカンドベスト）
→ 指定緊急避難場所までの移動が難しい場合に備えて、あらかじめ決めておく比較的安全だと思われる場所のことをいいます。

災害・避難カードの作成手順



- 災害・避難カードの作成については、次ページにあるステップ1～4の順番に地域の皆様で話し合って取組んでみましょう。

災害・避難カードの作成手順



ステップ①

- 避難情報の意味を知っておこう
- 気象情報や**防災情報**の流れや入手手段を知ろう

ステップ②

- 地域の災害のリスク(**ハザードマップ**)を確認しよう
- (以前に災害の被害があった場所や危険箇所を整理しよう)

ステップ③

- 「いつ」避難を開始するのか「**避難の合図**」を決めておこう
- 「どこへ」避難をするのか「**次善の避難場所**」を決めておこう

ステップ④

- 災害・避難カードに、スイッチと避難先を記入しよう

ステップ① 避難情報の意味を知ろう。



危険度

高い

高齢者等避難

・高齢者や幼児、外国人、体の不自由な人など避難に時間を要する人は避難を始める。

避難指示

・災害によって被害が出る危険性が非常に高い。
・災害が発生する危険があるため、周囲の状況を十分に確認した上で安全な場所に避難する。

※段階を踏まずに、避難指示(緊急)が発令される場合もあります。

ステップ① 警戒レベルの意味を知ろう。



警戒レベル	防災情報	とるべき行動
5	■ 緊急安全確保	命を守る 最善の行動
4	■ <u>避難指示</u>	全員避難
3	■ <u>高齢者等避難</u>	高齢者等は避難
2	■ 注意報（気象庁）	避難場所や 経路を再確認
1	■ 警報級の可能性 （気象庁）	最新の気象情報 などに注意

ステップ① 気象情報・防災情報の入手について



台風
発生

川
の
水
位
上
昇

緊急時

情報	気をつけるポイント
天気に関する情報	<ul style="list-style-type: none">・台風の大きさ・台風の強さ・台風の進路
	<ul style="list-style-type: none">・雨量・雨の降っている地域（川の上流）・今後の見通し
川に関する情報	<ul style="list-style-type: none">・近くの川の水位・上流の川の水位（今後の見通し）・氾濫の発生
避難に関する情報	<ul style="list-style-type: none">・高齢者等避難、避難指示・避難所の開設情報
	<ul style="list-style-type: none">・交通の状況

ステップ① 気象情報・防災情報の入手について



洪水警報の危険度分布（気象庁）



洪水発生の危険度が5段階に色分けされ、河川ごとに地図上で表示されます。



中小河川の洪水害発生の危険度の高まりを5段階で判定しています。

水色：平常時

黄色：注意

赤色：警戒

うす紫：非常に危険

濃い紫：極めて危険

順番に危険度が高まります。

少なくとも、うす紫色の段階で避難を開始してください。

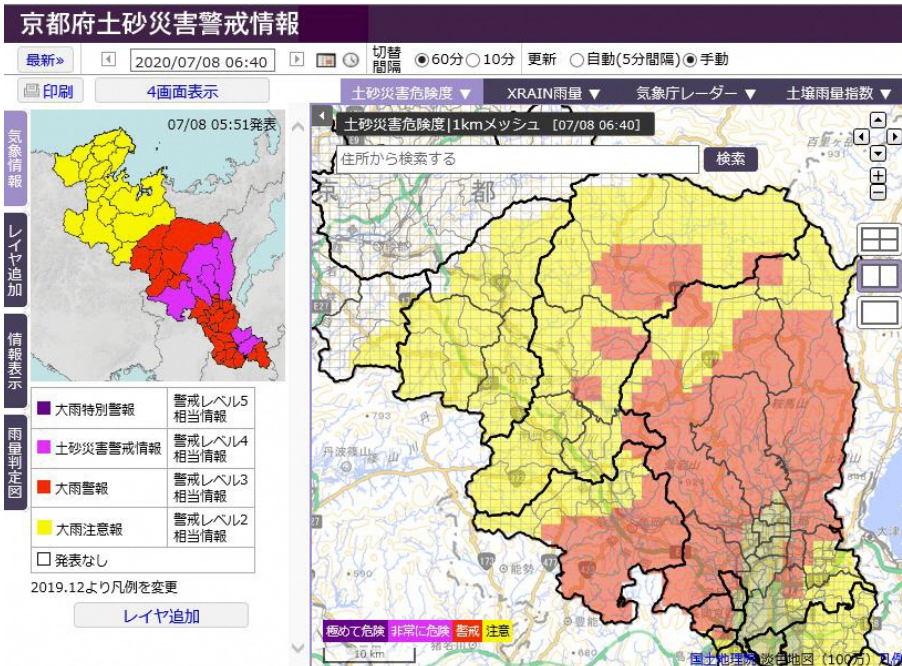
ステップ① 気象情報・防災情報の入手について



京都府土砂災害警戒情報



土砂災害の危険度が5段階に色分けされ、河川ごとに地図上で表示されます。



土砂災害の危険度の高まりを1kmメッシュ単位で5段階で判定しています。

水色：平常時

黄色：注意

赤色：警戒

うす紫：非常に危険

濃い紫：極めて危険

順番に危険度が高まります。

少なくとも、うす紫色の段階で避難を開始してください。

ステップ① 気象情報・防災情報の入手について



京都府マルチハザード情報提供システム



住所を入力すれば、その場所の洪水時の浸水深や土砂災害などの可能性をピンポイントかつ複合的に知ることができます。

京都府防災・防犯情報メール



気象情報や防災情報、避難情報などを配信しています。

まだ登録されていない方は登録しましょう。



京都府マルチハザード情報提供システム

このホームページは、あなたの住む場所にどんな危険が潜んでいるかを知るために提供しています。

ハザードマップ

ここを
タップ

防災マップを
見る

自分の家を
タップ

最寄りの避難場所

- A 京都造形芸術大学・京都造形芸術大学短期大学部(約370 m/約6分)
- B 京都市立嵐山小学校(約570 m/約9分)
- C 京都市立嵯峨野小学校(約1.1 km/約17分)
- D 京都市立梅津中学校(約1.1 km/約17分)

この場所で予想される被害

洪水浸水想定区域 表示中 オン

浸水深1.0m~2.0m未満

ステップ① 気象情報・防災情報の入手について



きょうと危機管理WEB



河川や土砂災害警戒情報、避難情報、交通・ライフライン情報など、府の危機管理に関する情報を広く集約しています。

また、「防災資料室」では災害危険箇所や避難所の場所、ハザードマップなど、地域に即した防災情報を集約しています。

京都府河川防災情報



府内河川の地点ごとの雨量や水位などをリアルタイムで確認できます。災害が発生しそうなときに確認して行動に移すことができます。

- 雨量・河川水位・土砂災害・気象(警報・注意報)
- マルチハザード情報提供
- 京都府土砂災害警戒情報
- 京都府道路情報提供
- 防災・防犯情報メール
- 避難所マップ
- 原子力防災対策
- Kyoto Trip+

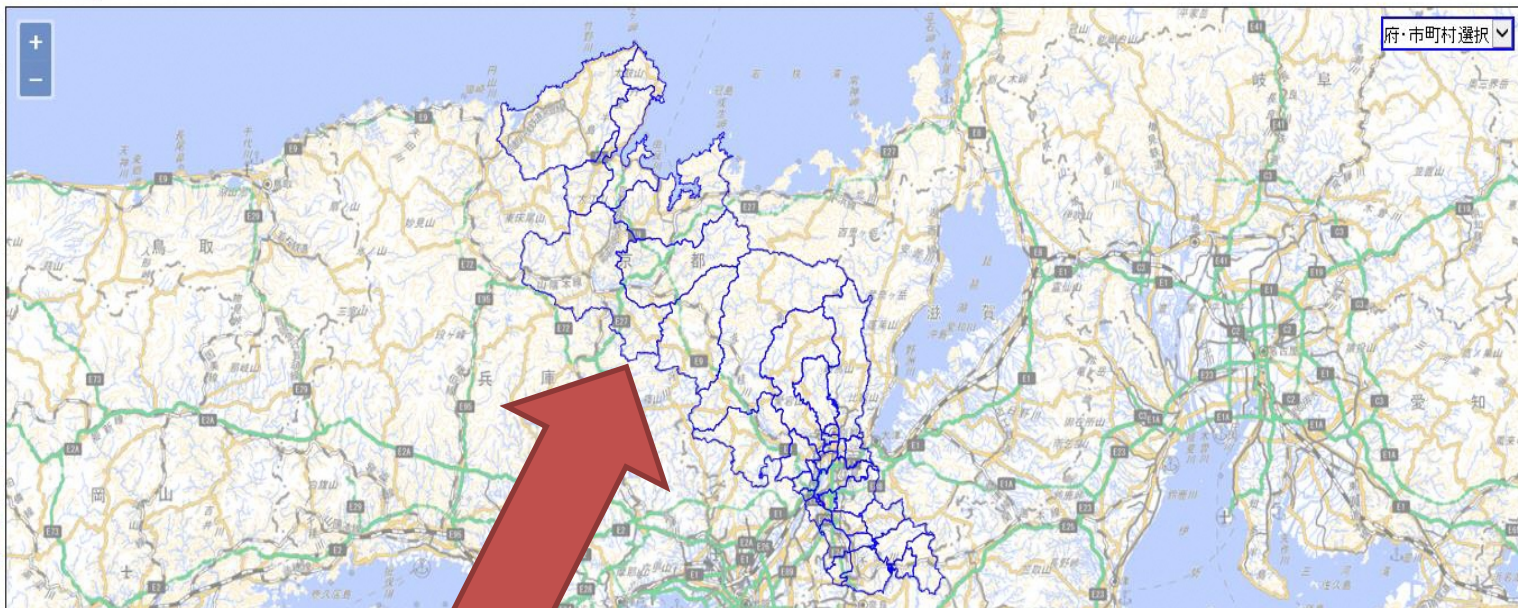
危機管理・防災関連情報

- [2021/06/07 14:56 京都府戦略的地震防災対策推進部会\(令和3年4月23日\)の開催結果について](#)
- [2021/05/07 18:20 第44回京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議の開催について](#)
- [2021/05/06 18:00 第43回京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議の開催について](#)
- [2021/04/28 18:00 第42回京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議の開催について](#)
- [2021/05/28 21:00 第47回京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議の開催について](#)

[お知らせ\(危機管理・防災関連情報\)の一覧を見る](#) [2021年3月31日以前のお知らせの一覧を見る](#)

防災情報

- 気象情報
- 雨量情報
- 水位情報
- 危機管理型水位計
- 河川防災カメラ
- ダム情報
- 土砂災害警戒情報
- 土砂災害危険度分布
- 地震・津波
- 避難所
- 避難情報**
- 積雪観測所



ここに住んでいる地域の避難情報が表示されたら避難します。

京都府河川防災情報

京都府河川防災情報

基準値到達情報

2020年01月08日 16時40分 現在

雨量局	時間雨量	到達なし
	累加雨量	到達なし
水位局	河川水位	水防団待機

操作メニュー

雨量情報 (傘のアイコン) 水位情報 (水位計のアイコン)

ダム情報 (ダムのアイコン) 河川防災カメラ (カメラのアイコン)

洪水予報 (水と矢印のアイコン)

ご覧になりたい情報のボタンをクリック

河川防災情報(スマートフォン版)
<http://chisuibousai.pref.kyoto.jp/sp/>

河川防災情報(携帯版)
<http://chisuibousai.pref.kyoto.jp/mb/>

河川防災カ
<http://chisuibousai>

河川防災
<http://chisuib>



丹後	綾部市、舞鶴市
中丹	亀岡市、南丹市、京丹波町
南丹	京都市
京部	向日市、長岡京市、大山崎町
乙訓	宇治市、城陽市、久御山町、八幡市、京田辺市、井手町、宇治田原市
山城北	木津川市、笠置町、和東町、精華町
山城南	南山城村

ご覧になりたい土木事務所名をクリックすると、該当の地域の水位状況図を表示します。

河川防災カメラ

鴨川	三條大橋	桂川	保津橋
	荒神橋		保津橋
防賀川	興戸(防賀川)	大手川	京口橋
	興戸(防賀川)		福田橋

雨量や水位がわかります。
場所からも検索できます。

祖母谷川水位観測所停止について (2019.12.26)

祖母谷川の水位観測所については、現在メンテナンス中のため欠測しております。

お知らせ (2014.06.06)

河川水位などはNHK(京都)の地デジ・HPや国交省HPでも閲覧出来ます。

NHK : <http://www.nhk.or.jp/kyoto-kasen/kyoto/bousai/index.html>

国交省 : <http://www.river.go.in/>

避難施設カルテ

各市町村の避難施設情報について、京都府ホームページに掲載しています。

向日市 避難施設カルテ(災害対策基本法に基づく指定施設) ID: 2620810005

施設名称	カミウエノコウミンカン 上植野公民館		
所在地	京都府向日市上植野町西小路15		

指定区分(施設種別)	対象とする災害							
指定緊急避難場所 いのちを守る	指定避難所 心強い避難所	洪水	土砂災害 地滑り	高潮	地震	津波	火事	内水
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>

備考:

建物情報			
構造	地上階数	地下階数	耐震性
コンクリート造(RC,SRCを含む)	2	0	あり

運営・設備状況							
ペットの同行避難	<input type="radio"/>	非常用電源	<input type="radio"/>	トイレ	<input type="radio"/>	エレベーター	<input checked="" type="checkbox"/>
入浴・シャワー	<input type="radio"/>	冷暖房設備	<input type="radio"/>	多機能トイレ	<input type="radio"/>	スロープ	<input type="radio"/>
WiFi環境	<input checked="" type="checkbox"/>	給食設備	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

施設外観	周辺道路(進入経路)

Google 2019-12-1

施設周辺図

Google 2017

避難経路上の危険箇所

本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならぬ(測量法に基づく国土地理院長承認(複製) R 2JHF 613)

避難施設カルテ



避難施設周辺の災害危険箇所を知ることができます。

ハザードマップの例

凡例

洪水浸水想定区域 想定される最大の浸水の深さ

5m 以上	2階の屋根以上が浸水
3~5m 未満	2階の屋根まで浸水
0.5~3m 未満	2階の床下まで浸水
0.5m 未満	1階の床下まで浸水

立退き避難が必要な区域 (建物の倒壊が想定される区域)

- 堤防が削られて...
- 全ての建物の倒壊が想定される区域
- 水の流れによって...
- 木造の建物の倒壊が想定される区域

土砂災害

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域

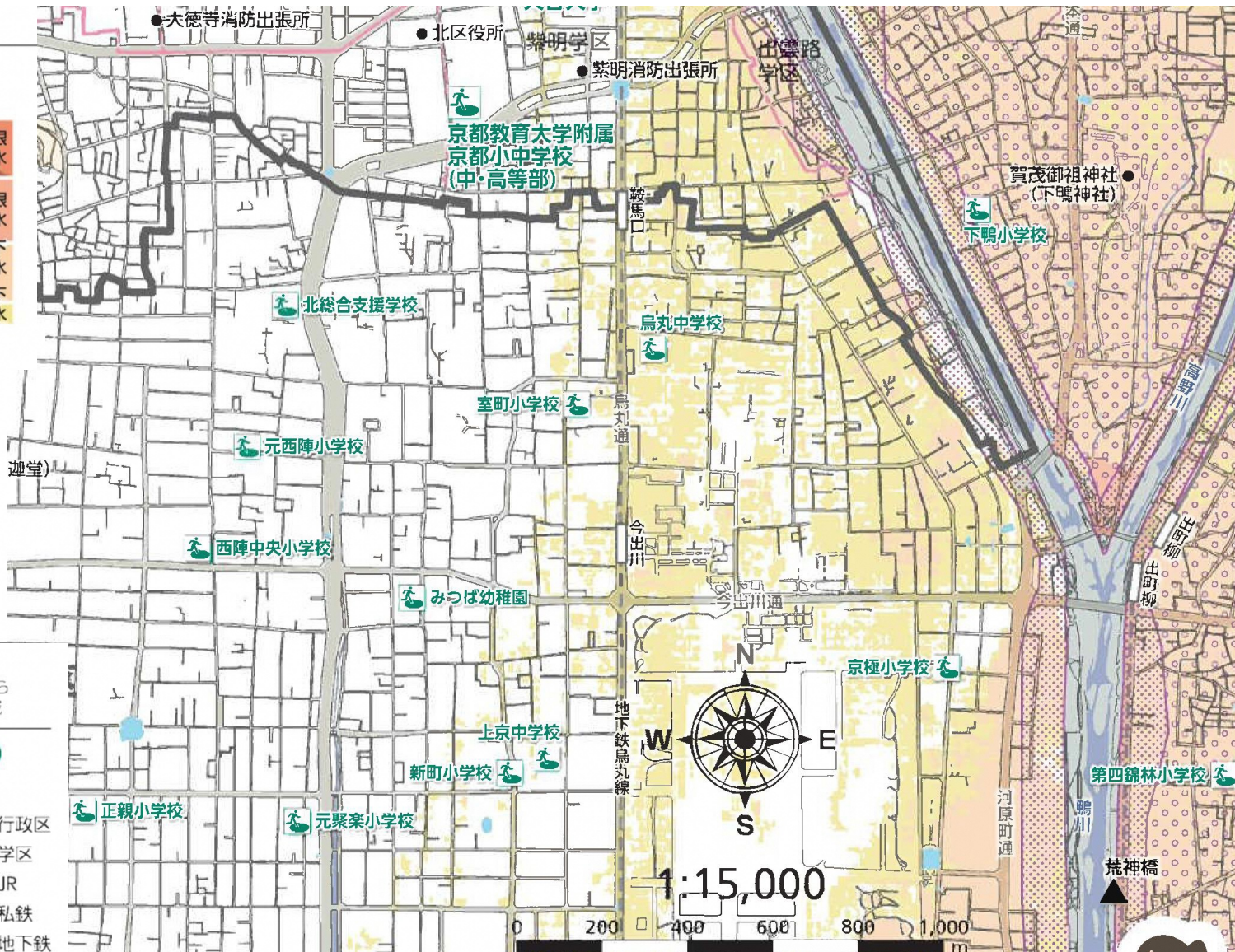
雨水出水浸水想定区域

- 大雨により、側溝や下水道から水が溢れる可能性がある区域

指定緊急避難場所(水害)

水害の危険から身を守るために一時的に避難する場所

- アンダーパス
- 行政区
- 学区
- JR
- 私鉄
- 警察署、消防署、官公庁、神社仏閣(世界遺産・国宝)
- 河川・池 ▲ 水位観測所
- 地下鉄





ステップ② 地域の災害リスクの確認しよう。

災害に関する地域の特徴を知るために、
「ハザードマップ（※）」等により

確認しましょう。

以下のような情報がまとまっています。

• 被災想定区域

• 避難場所

• その他防災関係施設の位置



★過去の被災場所について、地域の皆様で共有するとより効果的です。

※「京都府マルチハザード情報提供システム」や京都府ホームページに掲載している「避難施設カルテ」で確認出来ます。

ステップ③ 避難の合図と次善の避難場所を考えよう。



自分の住んでいる地域で、どのような災害リスクがあるのかを確認できたら、その災害リスクに対応する避難の合図（スイッチ）と次善の避難場所（セカンドベスト）について、考えてみましょう！

ステップ①で学んできた情報や、地域特有の前兆現象（水路から水溢れる、山水が激しく濁る等）があれば、それを避難の合図（スイッチ）に使ってみましょう。

また、指定緊急避難場所までたどり着けない場合も想定して、自分の住んでいる地域で、避難できそうな場所がないかを探してみましょう。

次ページに避難の合図（スイッチ）の例を示していますので、参考にしてください。

スイッチが思いつかなければ、
市町村が発令する避難情報を
スイッチにしよう！



避難の合図(スイッチ)の例

洪水

◆雨量・水位

「〇〇雨量観測所」での時間雨量〇〇mm

「〇〇雨量観測所」での累加雨量〇〇〇mm

「〇〇川」「〇〇観測所」の水位が〇mに到達

「〇〇川」「〇〇河川カメラ」で氾濫のおそれが認められるとき

「〇〇川」の樋門が閉鎖

◆上記以外で発表される情報

〇〇川の「洪水警報の危険度分布」が「赤色」または「薄い紫色」

◆被害の発生・異常現象

〇〇地点で水路等からの浸水開始

など

土砂災害

◆雨量・水位

「〇〇雨量観測所」での時間雨量〇〇mm

「〇〇雨量観測所」での累加雨量〇〇〇mm

記録的短時間大雨情報

◆上記以外で発表される情報

土砂災害警戒情報の発表

土砂災害危険度が「赤色」または「薄い紫色」

◆被害の発生・異常現象

〇〇地点で山道が川のようにになっている

など

次善の避難場所（セカンドベスト）の例

- 商業施設や寺社などの民間施設
- 高台にある住宅
- 自治会館
- 集会場など

外出することが危険な場合（浸水が始まっている場合や夜間等）は、基本的には、屋内のより高い階（自宅の2階）への避難をしましょう。



ステップ④ 災害・避難カードに記入してみよう。



災害・避難カードのひな型に、ステップ③で考えたスイッチや避難先を記入しましょう。

これで、災害・避難カードは、完成です。

災害・避難カード

		水害	土砂災害
避難の合図 (スイッチ)		〇〇川の洪水警報の危険度分布が薄紫色になったとき。	自分の住んでいる地域で、土砂災害警戒情報が発令されたとき。
避難先	指定緊急避難場所	〇〇小学校、△△中学校	〇〇小学校、△△中学校
	次善の避難場所	〇〇公民館	□□さんのお家
メモ欄		・避難する際は、防災グッズを持ち出すこと。 ・〇〇さんへの避難の声掛けを行うこと。 ・災害用伝言ダイヤル(171) (災害などで電話がつながりにくくなった場合に提供が開始される伝言板)	
○市町村から避難情報が出された際は、避難行動をとりましょう。 ○高齢者等避難 避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難しましょう。 ○避難指示 速やかに危険な場所から避難しましょう。			

作成した災害・避難カードを地域の防災訓練などで活用し、実効性を確かめましょう。また、定期的にハザード情報を確認し、スイッチ、避難先の見直しを行うようにしましょう。



参考：避難行動の考え方について



- 「避難」とは「難」を「避」けることです。安全な避難場所は小中学校・公民館だけではありません。安全な親戚・知人宅等に避難することも考えてみましょう。
- 外へ避難が難しい場合は、自宅の2階のより安全な部屋（山から離れた部屋）へ移動しましょう。

是非、地域の皆様で、
災害・避難カードを作成してください。

